

きむらカイロ通信第6号

挨拶

みなさんこんにちは。きむらカイロプラクティックの村尾です。
このあいだ正月を迎えたと思っていたのに、節分、立春が過ぎて暦のうえではもう春になりました。でも今年の冬は寒さが厳しい、まだまだ寒い日が続きます。寒い日が続きますと、外を歩いていても姿勢が丸くなり、肩をすくめて歩いてしまいます。そもそも寒いと外にも出なくなります。そんな気候が続きますと腰や首の具合が悪くなってきます。今年の冬は特にそのような方が多いです。皆さまもおからだをご自愛ください。

きむらカイロプラクティック 村尾

お水の話 ①

生命と水とエネルギー

時々テレビなどで宇宙から眺めた地球の映像を見る機会があります。ところどころに見える茶色い陸地と白い雲、そしてなにより青く広がる海が印象的です。みなさんもよくご存知ですが、この青い海を作っている水が地球に豊富にある。これが地球を生命に満ちた星にしていますね。なぜ生命にとって水はとても大切なのでしょう。

植物は太陽エネルギーを利用して、二酸化炭素と水を原料にしてブドウ糖を生成します。そのブドウ糖を人間が食べて生きるためのエネルギーとして利用しています。ブドウ糖は人間の腸から体内に吸収され、血液を介して体の隅々まで送られ細胞に取り込まれます。細胞に入ったブドウ糖は酸素と一緒に燃やされ別のものに変化します。この別な物に変化するときに化学エネルギーが発生し、そのエネルギーを生命活動に利用しています。エネルギーを得たあとのブドウ糖と酸素は何になるかというと、基本的には二酸化炭素と水になります。

ブドウ糖(C₆H₁₂O₆) + 酸素(O₂) + 太陽エネルギー
→ 二酸化炭素(CO₂) + 水(H₂O) + 化学エネルギー となります。

人間の体内にある水の約10%はこのように体内で自ら生成したものです。二酸化炭素は肺から呼吸をすることで大気に排泄され、水はオシッコとして排泄されます。その水は植物の根っこから吸収されて、再び太陽エネルギーを利用して二酸化炭素と合成されて栄養素であるブドウ糖と酸素を合成します。このことは太陽の光エネルギーを、水を仲介してブドウ糖に変えて人間の体内で化学エネルギーにエネルギー変換をして利用していることとなります。

今回は水と生命のエネルギーの結びつきを見てみました。次回もお楽しみに。

村尾 謙

各スタッフのひとごと

木村 康彦

きむらカイロの木村です。こんにちは。

先日は、バレンタインデーで、妻と娘から手作りのケーキをもらいました。

妻は、私がもらったことを忘れるからと、食べている私の写真を撮っていました。

あげた見返りがほしいのか？

私の記憶が心配なのか？これがバレンタインデーかな？と疑問です。

木村 絵子

バレンタインデーが近づいたある日、院長と患者さんとの会話が聞こえてきましたね。「先生は奥さんにチョコとかもらいますか？」「ん～、・・・もらった覚えが・・・んん、ないですねえ。」

な、な、な、ぬあんですとお！！Σ(￣□￣Ⅲ)

毎年、手作りしてるのに、シドイ！いつもお菓子の出来上がり写真を携帯に保存してあるので、とりあえず去年作ったケーキの画像探し出し、「見て！」と携帯を渡しました。院長の反応は「ふーん」とだけ。

『してあげたことは忘れろ してもらったことは忘れるな』なんて言葉を思い出し、自分を落ち着かせましたよ。そういや、ホワイトデーってもらってたかなあ？☆絵子☆

岸野 浩之

まだまだ寒い日が続いていますね。一月に東京で初雪が降った時、家の方では15cmくらい車の屋根に積もっていました。うちではまだまだ湯たんぽと耳あてが大活躍しています。早く暖かくなってほしいですが、僕は花粉症持ちなのでそこのところが複雑な心境です。

青木 絵里

こんにちは、青木です。

よく甥の遊び相手として実家に帰るわたしですが、

最近4才になる甥がよく泣きます。心配されたいからか分かりませんが、この間は熱くもない木の灰を触っただけで「バンドエードー！！」と大騒ぎ。

しかし不思議なことにバンドエイドを貼るとすぐ泣きやみました。

結構血が出ているケガでも同様にバンドエイドを貼ると泣きやむので、彼にとって一種のおまじないなのでしょう。しかし、なんの傷もなく泣いている甥に、「それでも男か！！」と言いたい私・・・。

きむらカイロプラクティック・吉祥寺

0422-41-3240

東京都武蔵野市吉祥寺南町1-11-11 武蔵野ビル5F

予約制 休診日：火曜・祝日 **土日診療**